

## 方針案骨子の論点

1 方針案作成の目的

産学官が課題解決に向けた全体像を共有し、取組を加速させること

- ・事実の共有＝目線合わせ
  - ・解釈の共有＝納得感醸成
  - ・行動の共有＝取組の加速

2 方針案骨子のアウトライン（案）

## (1) はじめに

→骨子案作成の目的

＝これまで開催された協議会や各界における議論をもとに、産学官が課題解決に向けた全体像を共有し、取組を加速させること

## (2) プラットフォームを取り巻く現状（事実の共有）

※産学官に共通する社会変化の方向を示す

- ①人口減少、少子高齢化社会の進展
- ②若者の転出超過と急速な減少
- ③地域産業の担い手不足と society5.0 の到来
- ④人生100年時代に合わせた教育と社会の循環システム

## (3) プラットフォームが果たすべき役割（解釈の共有）

※問題を解決するゴールの設定＝理想、各々の役割分担

※社会的要請（高等教育と社会との関係、地域人材の育成・定着のあり方）

- ①地域の将来ビジョンと本プラットフォームの位置づけ
- ②産学官連携による課題解決

(4) プラットフォームにおける今後の取組（行動の共有）

※理想と現実を埋める行動

- ①地域人材の育成・定着策の検討・実践
  - ・前橋で学ぶ
  - ・前橋で働く
  - ・前橋で生きる
- ②持続可能な運営体制の構築

本日会議の議論を  
反映する